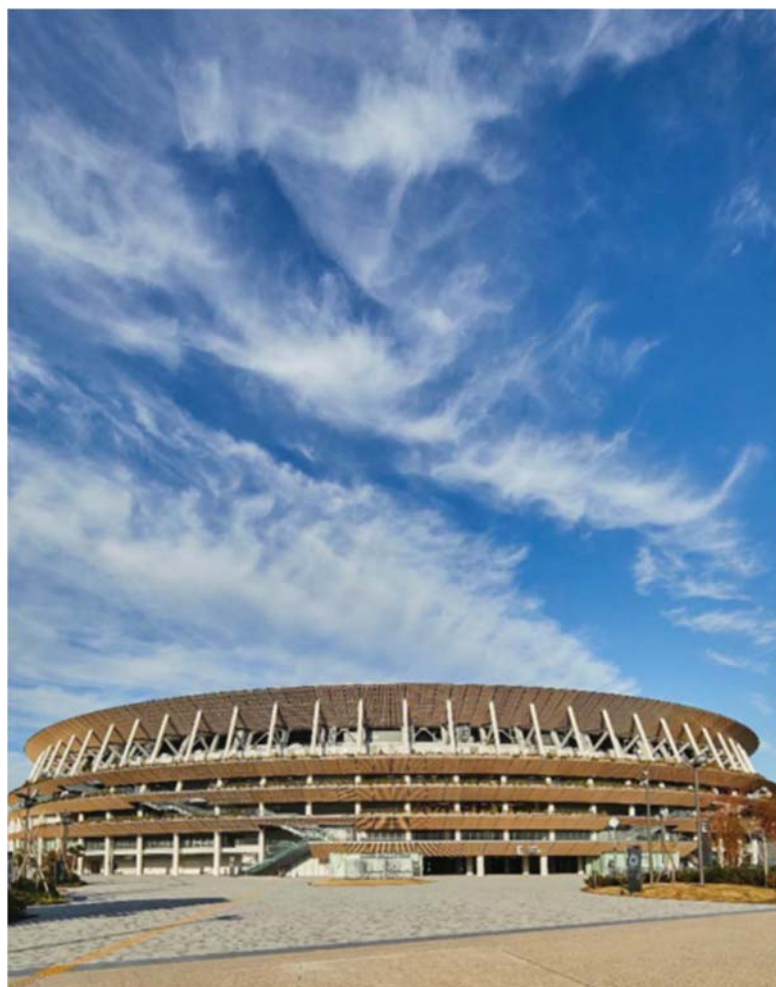




新たな大会に向けた準備状況

2020年12月22日

2020年を振り返って



春 延期前

- 2019年12月 2020夏に向けた課題として暑さ・台風対策等を理事会に報告
- 2020年年明け 組織運営体制を大会運営体制へと移行
 - ✓ 職員の大会時のポジションを発令し、大会時ポジションにて準備業務開始
- 3月12日 オリンピック聖火リレー聖火採火式、3月20日 松島到着
 - ✓ 古代オリンピック発祥の地ギリシャ・オリンピア市にて聖火リレー採火式が開催
- 3月22日 森会長、IOCバッハ会長による電話会談
 - ✓ 新型コロナウイルス感染症の世界的感染が拡大し状況が深刻化
 - ✓ 延期を含めた複数のシナリオを検討し、約4週間で結論を出すことに合意
- 3月24日 安倍総理、森会長、IOCバッハ会長、小池都知事らによる電話会談
 - ✓ アスリート及び観客の安心・安全を確保することが最も重要
 - ✓ 世界の状況が継続的に悪化する中、延期とせざるを得ない旨一致

TOKYO 2020

春 新たな出発

- 3月26日 「新たな出発本部」の設置
 - ✓ 会場と競技日程の早期確定が第一
 - ✓ 改訂すべき契約の洗い出し、現行計画のブラッシュアップ、サービス水準見直し
 - ✓ コロナ対策の検討
- 3月30日 森会長、IOCバッハ会長、小池都知事、橋本大臣で新日程合意
 - ✓ オリンピック競技大会： 2021年7月23日から8月8日
 - ✓ パラリンピック競技大会：2021年8月24日から9月5日
- 4月16日 エグゼクティブプロジェクトレビュー
 - ✓ 同一会場、同一競技日程の原則を確認
 - ✓ ロードマップの作成を推進
 - ✓ サービス水準の見直し、延期のインパクトのレビュー、コロナ対策の検討

TOKYO 2020

GW 延期後の大会像について組織委内で議論

- 延期前：世界最大のスポーツイベントを、高いサービス水準で。関連イベント。
- 状況の変化：社会が変わった以上、オリパラ大会も変わる必要
- 出来るだけシンプルに
 - 数：関係者、パートナー、スタッフ、ボランティア等の縮減は可能か
 - サービスレベル：出来る限り合理化。シンプルに。
 - 範囲：競技そのものに回帰。付随部分・関連イベントの見直し・簡略化・取りやめ
- 人類の希望としての大会
 - 人々が健康となった。（←医療従事者、エッセンシャルワーカーの力）
 - スポーツができるようになった。（←アスリートの力）
 - 社会に活力が戻った。（←助け合い・連帯・再生の力）

⇒オリパラの原点に戻る、シンプルな大会へ、人々の希望の拠り所。
シンプルな大会（数・範囲の縮小等）が、安全・安心を確保する上でも重要。

TOKYO 2020

夏 大会の位置づけ、ロードマップ

● IOC理事会（6月10日）

✓ 延期後の大会の運営三原則

- ①安全、安心な環境を提供することを最優先課題とする
- ②延期に伴う費用を最小化する
- ③大会を簡素（シンプル）なものとする

✓ 来年の大会に向けた工程表

- ①フェーズ1：大会の骨格 → 4月より調整開始、7月・8月に決定
- ②フェーズ2：縮減・シンプル化 → 6月より検討開始、9月にとりまとめ
- ③フェーズ3：コロナ対策等 → 9月より検討開始、年内に中間報告

● 同一会場・同一日程（フェーズ1）

- ✓ 7月17日 オリンピックの競技スケジュール・会場を決定・公表
- ✓ 8月3日 パラリンピックの競技スケジュール・会場を決定・公表

TOKYO 2020

夏 簡素化

- 下記の4つのグループに分け、悉皆的に見直し
 - ✓ ヒト(大会関係者) 参加者数削減、入村式・総会文化パートの廃止 等
 - ✓ モノ(インフラ等) 仮設オーバーレイの仕様の見直し、輸送の合理化 等
 - ✓ 盛り上げ(機運醸成) 競技会場・選手村等のルックの削減 等
 - ✓ 収入関連等
- 52項目 約300億円の削減効果。今後も簡素化の取組みを継続。
- 簡素化の目的
 - ・コスト縮減のみにとどまるものではない。
 - ・世界中がコロナという共通の危機にあり、社会や経済が大きく変化した以上、オリンピック・パラリンピックも変革していく必要がある。
 - ・東京大会は、簡素化とコロナ対策を通じて、シンプルで安心・安全なオリンピック・パラリンピックを実現。
 - ・社会全体がシンプルで安全・安心な社会を求める中、東京大会が社会に対して大きなメッセージにもなるとともに、新たなスタンダードを提供。

TOKYO 2020

秋 新型コロナウイルス対策調整会議

- 準備段階：コロナ対策については、人類が経験したことのない、また現在進行中の事象であることから、検討を本格化する秋までの間に、まずは検討の場・検討のテーマを整理。
- 検討の場：コロナ対策は、日本国、東京都の安全・安心にも関わることから、国、東京都、大会組織委員会が中心となり、JOC、JPC、感染症専門家も参加する「新型コロナウイルス感染症対策調整会議」を設置。
- 検討のテーマ：コロナ対策は、広範な範囲で必要とされるものであり、特定の一つの施策ではなく、網羅的な対応が求められる。主体ごと（アスリート、大会関係者、観客）、場面ごと（出入国、ホストタウン、会場、選手村、事態対応等）にマトリックスを作成し、各回毎に漏れなく論点を議論。

	出入国	大会期間	事態対応
アスリート	第2回	第3回	第4回
大会関係者	第4回	第4回	第4回
観客	第5回	第5回	第5回

TOKYO 2020

秋 対外的なコミュニケーション

- 大会のコロナ対策は、都民・国民の関心事項であり、オープンな議論が必要。
- また、アスリート等に対しても、安全な対策の考え方を示し、意見をもらいながら対応を固めていくことで、安全が安心にもつながる。
- 以上の考え方から、毎回のコロナ調整会議での対応案は、全て対外的に公表するとともに、以下のように大会関係者ともコミュニケーションを重ねた。
 - ✓ 対NOC：10月12, 14, 16日、対NPC：10月28, 29, 30日
 - ✓ IFセミナー：10月15日、パラ IFセミナー：11月6日
 - ✓ パートナーミーティング：10月13日
 - ✓ ワールドブロードキャスターブリーフィング：10月23日、パラ：12月3日
 - ✓ プレスオペレーションアップデート：11月3日
- バッハIOC会長と森会長が合同記者会見を開催（11月16日）
- IOC・IPC合同プロジェクトレビュー（11月16日～18日）
 - ✓ 都、国とともに五者によるコロナ対策セッションを開催。

TOKYO 2020

東京オリンピック・パラリンピック競技大会における 新型コロナウイルス感染症対策調整会議 中間整理の概要

- 東京大会における新型コロナウイルス感染症対策について総合的に検討、調整するため、本年9月以降、計6回、国、東京都、大会組織委員会、JOC、JPC、感染症専門家が参加する「東京オリンピック・パラリンピック競技大会における新型コロナウイルス感染症対策調整会議」を開催。
- アスリート、大会関係者、観客の3つのカテゴリーについて、場面（入国、輸送、会場等）ごとに、新型コロナウイルス感染症への対策を整理。

中間整理の概要

1. アスリートについて

東京大会の主役であるアスリートについては、最優先で検討を実施し、以下の点等について方向性を確定。

①基本的考え方

- ・ アスリートが安全・安心な環境の下、万全のコンディションでプレーするため、入国からホストタウン、大会への参加等を経て出国まで、それぞれの場面ごとの感染症対策を行い、トータルでの環境整備・ルール作りを実施。
- ・ アスリートとの接触は必要最小限とし、接触する相手方も検査等により防疫措置を講じる。

②出入国

- ・ 本年11月に運用を開始した「アスリート用オリパラ準備トラック」（オリパラに関連し国内で開催する国際大会へのアスリート等の入国措置）に加え、東京大会本番に関し、国外のアスリート等について、必要な防疫上の措置を講じた上で、入国を認め、入国後14日間の待機期間中の活動（練習や大会参加等）を可能とする仕組みを整備。

③感染症対策・行動ルール

- ・ 競技会場や選手村等におけるアスリート等の感染症対策については、基本的な感染防止策の徹底とともに、アスリート等が行動できる範囲や移動方法を限定する等のアスリート等の行動ルールを策定・徹底。

④検査

- ・ 出入国時の検査のほか、入国後もホストタウン・選手村等を安全・安心な環境とするため、アスリート等に対して、スクリーニング検査や、試合前の検査など、必要な検査を実施。このため、選手村内に検体採取センターや検査分析設備を整備する等、体制を整備。

⑤保健衛生・医療・療養機能

- ・徹底した感染防止策を行った上でも、アスリート等に感染者・疑い例が発生した場合を想定し、アスリート等の感染症に係る迅速な初動対応と関係部門の情報共有、保健衛生上の各種対応に一元的に取り組める機能を構築するため、組織委員会感染症対策センター（仮称）の設置、保健衛生の拠点機能の構築等を実施。
- ・感染疑いのあるアスリート等に対し迅速に医療・療養の機会を提供するため、選手村総合診療所内の発熱外来等の設置、入院先医療機関、宿泊療養先の確保等を実施。

⑥パラアスリート

- ・パラアスリート等に関しては、障害の種別にも配慮しつつ、パラアスリート介助者等のスタッフ等による感染防止の支援の際のガイドラインを策定。

2. 大会関係者、観客について

- 主催者等、メディア、大会スタッフ等の大会関係者については、海外関係者の出入国や行動ルール、移動等の点に関して、大会運営との関わりの度合い、業務内容、アスリートとの接触の多寡等に応じた対応を決定。
- 観客については、観客向けガイドラインの策定・周知や、競技会場において観客に体調不良者が発生した場合の対応、入院・療養する医療機関の確保等の対策を定める。
観客数の上限については、内外の感染状況や現在行っている観客数を引き上げた場合の実証の結果なども踏まえ、国内の上限規制に準じることを基本として、最終的な決定は、来春までに行う。
外国人観客の取扱いについては、「観客の安全」と「地域の安全」の両立を図る観点を踏まえ、検討。その際、14日間隔離・公共交通機関不使用を条件とすることは、観戦を事実上困難とするものであることから、これらと同程度の防疫措置を構築。また、各国の感染状況等を踏まえ、14日間隔離の維持も含めリスクに応じた適切な防疫措置を講じる。具体的な措置の内容（入国前の検査・健康管理、入国時の検査・誓約書等確認、入国後の行動管理・健康管理、隔離などの医療面の対応、実効性の担保方法、アプリ等の導入等）については、感染症の専門的知見も踏まえつつ、来春までに決定。

3. 聖火リレー、ライブサイトについて

- 聖火リレーについては、観覧客・聖火ランナー・運営スタッフと地域住民の双方の安全・安心の確保等の観点から、組織委員会において具体的な感染予防策を年内に作成し、都道府県実行委員会など各ステークホルダーの対策を推進。
- ライブサイトについては、組織委員会は感染症対策の指針を年内に策定するとともに、ライブサイト実施予定の各自治体に対して、改めて計画を検証した上で、会場ごとの感染症対策に係る計画の提出を依頼。

4. ホストタウン・事前キャンプについて

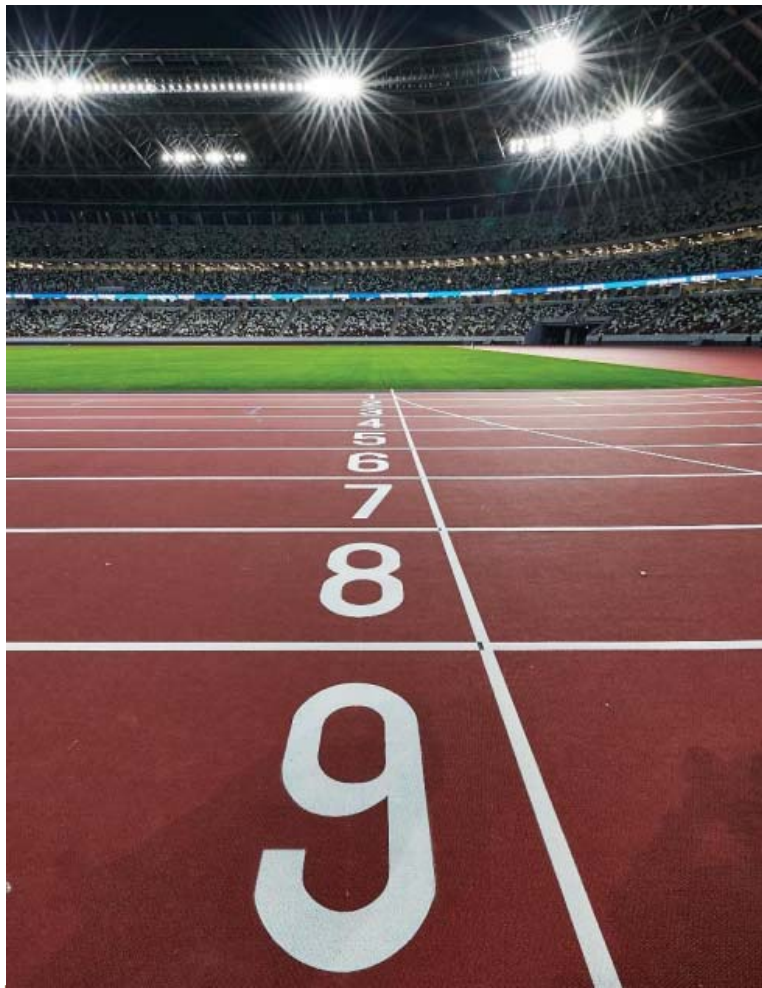
- ホストタウンについては、感染防止対策を講じた上で、充実した交流を実現し、それを大会後のレガシーとしてつなげることが重要。
- これらの観点から、本年11月に国において策定した「ホストタウン等における選手等受入れマニュアル作成の手引き」を踏まえ、ホストタウンや事前キャンプ地について、それぞれの自治体等に「受入れマニュアル」の作成を求め、感染防止対策を実施。
- 大会出場前には選手等との接触が生じない公開練習の見学やオンライン交流、出場後には感染防止策を講じた上で各ホストタウンのニーズに応じた様々な交流の実施を推進。

今後の対応

- 本中間整理を踏まえつつ、来夏の東京大会に向けて、必要な対策の具体化を図る。

※今後、以下の課題等について、取扱いの詳細を定める。

- ・アスリート等に係る検査の実施方針
- ・組織委員会感染症対策センター（仮称）と保健衛生の拠点機能等の具体化
- ・陽性者の入院・宿泊療養体制の確保
- ・陽性者発生時の競技運営の在り方
- ・大会関係者や、観客の取扱い（観客上限、外国人観客）に係る具体的な措置
- ・マラソン・競歩等、公道等で行われる競技における観客の感染症対策
- ・聖火リレー・ライブサイトにおいて混雑・密集を避けるための対策
- ・開閉会式におけるアスリート等の感染症対策
- ・ワクチンが利用可能となった場合の対応



2021年 大会の開催に向けて

TOKYO 2020

2021年 夏に向けて

1月-3月	春頃	4月-6月	7月-9月
<ul style="list-style-type: none"> ■ 最新状況を踏まえ、工程表に沿った新型コロナウイルス対策の具体化、大会関係者との協議、連携 ■ テストイベント・聖火リレーに向けたコロナ対策も踏まえた運営計画の最終化 ■ IOC、IPCとのプロジェクトレビュー、各ステークホルダーとの協議 	<ul style="list-style-type: none"> ■ テストイベント（4月～） ■ 聖火リレー（3/25～） ■ 観客の上限数、海外観客についての方針 	<ul style="list-style-type: none"> ■ テストイベント演習を通じ計画の最終チェック ■ 状況を踏まえたコロナ対策の最終具体化 	<p>大会本番</p>

- 「人類がウイルスに打ち勝った証として」
 - ◆ オリンピック・パラリンピックが証となる理由
 - ◆ 日本・東京で開催する意義
- その上で、
 - ◆ オリンピック・パラリンピックも社会的存在→社会が変わった以上、大会も変わる必要。
 - ◆ 予防的措置と事態対処（想像と準備）→引き続き、国、都、組織委一体で。

TOKYO 2020

テストイベントカレンダー

競技(種別)	イベント名	日程/会場	主催
水泳 (アーティスティックスイミング)	FINAアーティスティックスイミング オリンピック競技大会 予選トーナメント2021	2021年3月4日～7日 東京アクアティクスセンター	国際水泳連盟
車いすラグビー	運営テスト-車いすラグビー	2021年4月3日～4日 国立代々木競技場	東京2020組織委員会
水泳(水球)	運営テスト-水泳(水球)	2021年4月10日～11日 東京辰巳国際水泳場	東京2020組織委員会
水泳(飛込)	FINA飛込ワールドカップ2021兼 東京2020オリンピック 最終選考会	2021年4月18日～23日 東京アクアティクスセンター	国際水泳連盟
ラグビー	運営テスト-ラグビー	2021年4月22日 東京スタジアム	東京2020組織委員会
水泳(競泳)	READY STEADY TOKYO-水泳(競泳)	2021年4月24日～25日 東京アクアティクスセンター	東京2020組織委員会
自転車競技 (BMXフリースタイル)	READY STEADY TOKYO-自転車競技 (BMXフリースタイル)	2021年4月24日～25日(予備日:26日) 有明アーバン スポーツパーク	東京2020組織委員会
自転車競技(トラック)	READY STEADY TOKYO-自転車競技 (トラック)	2021年4月25日 伊豆ベロドローム	東京2020組織委員会
パラ水泳	READY STEADY TOKYO-パラ水泳	2021年4月26日 東京アクアティクスセンター	東京2020組織委員会
射撃	READY STEADY TOKYO-射撃	2021年4月26日～30日 陸上自衛隊朝霞訓練場	東京2020組織委員会
スケートボード	READY STEADY TOKYO-スケートボード	2021年4月28日～29日(予備日:30日) 有明アーバン スポーツパーク	東京2020組織委員会
バレーボール(バレーボール)	バレーボール日本代表国際親善試合 ～東京チャレンジ2021～(仮称)	2021年5月1日～2日 有明アリーナ	(公財)日本バレーボール協会
体操(体操)	2021体操ワールドカップ東京大会	2021年5月4日 有明体操競技場	国際体操連盟
陸上競技(マラソン)	北海道・札幌マラソンフェスティバル 2021	2021年5月5日 札幌大通公園	北海道・札幌マラソンフェスティバル 2021実行委員会
体操(新体操)	READY STEADY TOKYO-体操(新体操)	2021年5月8日 有明体操競技場	東京2020組織委員会
陸上競技	READY STEADY TOKYO-陸上競技	2021年5月9日 オリンピックスタジアム	東京2020組織委員会
パラ陸上競技	READY STEADY TOKYO-パラ陸上競技	2021年5月11日 オリンピックスタジアム	東京2020組織委員会
バスケットボール (3x3 バスケットボール)	READY STEADY TOKYO-バスケットボール (3x3 バスケットボール)	2021年5月14日～16日 青海アーバンスポーツパーク	東京2020組織委員会

※その他全ての競技においても、コロナ対策を兼ねたテストを実施し、本大会に備える。



TOKYO 2020

東京2020 第39回理事会 資料

決議事項



組織委員会予算案 (V5)

2020年12月22日

組織委員会予算(V5 予算)

収 入

項 目	金 額
IOC負担金	850 億円
TOPスポンサー	560 億円
国内スポンサー	3,500 億円
ライセンス	140 億円
チケット売上	900 億円
その他	350 億円
増収見込	760 億円
収支調整額 (注)	150 億円
計	7,210 億円

(注)組織委員会の支出のうち、同委員会の経費削減努力や増収努力によっても賄いきれない費用について、東京都が負担するもの。

支 出

項 目	金 額
ハード (会場整備)	1,530 億円
仮設等	1,280 億円
エネルギーインフラ	250 億円
ソフト (大会運営)	5,680 億円
輸送	480 億円
セキュリティ	340 億円
テクノロジー	780 億円
オペレーション	1,680 億円
管理・広報	840 億円
マーケティング	1,360 億円
その他	200 億円
計	7,210 億円

【参考】 組織委員会及びその他の経費(V5予算)

	組織委員会	その他	計
ハード（会場整備）	1,530 億円	6,540 億円	8,070 億円
恒久施設	—	3,460 億円	3,460 億円
仮設等	1,280 億円	2,610 億円	3,890 億円
エネルギーインフラ	250 億円	470 億円	720 億円
ソフト（大会運営）	5,680 億円	1,630 億円	7,310 億円
輸送	480 億円	370 億円	850 億円
セキュリティ	340 億円	580 億円	920 億円
テクノロジー	780 億円	430 億円	1,210 億円
オペレーション	1,680 億円	250 億円	1,930 億円
管理・広報	840 億円	0 億円	840 億円
マーケティング	1,360 億円	0 億円	1,360 億円
その他	200 億円	0 億円	200 億円
新型コロナウイルス感染症対策関連	—	960 億円	960 億円
緊急対応費	—	100 億円	100 億円
計	7,210 億円	9,230 億円	16,440 億円

(注) 予期せず発生し得る事態等に対処する必要があるが生じた場合、関係者は役割分担に応じて対応する。

【参考】 経費分担試算(V5 予算)

	組織委員会	東京都	国	計
会場関係	2,310 億円 (600 億円)	5,470 億円 (300 億円)	1,500 億円 (300 億円)	9,280 億円 (1,200 億円)
恒久施設	—	2,260 億円	1,200 億円	3,460 億円
仮設等	1,280 億円	2,410 億円	} 300 億円	} 5,820 億円
エネルギーインフラ	250 億円	420 億円		
テクノロジ	780 億円	380 億円		
大会関係	4,900 億円 (300 億円)	1,050 億円 (150 億円)	150 億円 (150 億円)	6,100 億円 (600 億円)
輸送	480 億円	350 億円	} 150 億円	} 6,100 億円
セキュリティ	340 億円	550 億円		
オペレーション	1,680 億円	150 億円		
管理・広報	840 億円	0 億円		
マーケティング	1,360 億円	0 億円		
その他	200 億円	0 億円		
新型コロナウイルス感染症対策関連	—	400 億円	560 億円	960 億円
緊急対応費	—	100 億円	—	100 億円
計	7,210 億円 (900 億円)	7,020 億円 (450 億円)	2,210 億円 (450 億円)	16,440 億円 (1,800 億円)

(注1) 予期せず発生し得る事態等に対処する必要が生じた場合、関係者は役割分担に応じて対応する。

(注2) () は、うちパラリンピック経費分である。



組織委員会2020年度補正予算案

2020年12月22日

組織委員会 2020年度補正予算概要キャッシュフローベース（案）

（単位：億円）

項目	当初予算 A	補正後予算 B	補正額 C=B-A	主な内容
ハード（会場整備）	929.2	629.7	△ 299.5	
仮設等	816.0	572.2	△ 243.8	・ 競技会場等における仮設オーバーレイの一時撤去・再設置 等
エネルギー インフラ	113.2	57.5	△ 55.7	・ 競技会場等における仮設電源設備の一時撤去・再設置 等
ソフト（大会運営）	3,265.3	1,403.7	△ 1,861.6	
輸送	401.7	65.2	△ 336.5	・ 大会関係者輸送用フリート（乗用車）の維持管理 等
セキュリティ	317.1	20.7	△ 296.4	・ 警備資機材の保管 等
テクノロジー	466.1	373.8	△ 92.3	・ 大会情報の配信、大会運営に関する各種システムの保守 ・ 通信インフラの維持管理 等
オペレーション	1,374.5	488.6	△ 885.9	・ 会場・競技運営準備、競技用備品の保管 ・ 選手村の維持管理 等
管理・広報等	358.4	244.4	△ 114.0	・ 広報活動、人件費・賃料 ・ スタッフ・ボランティアのユニフォーム保管 等
マーケティング	347.5	211.0	△ 136.5	・ 収入連動経費 ・ チケット払い戻しに係るシステム開発 等
計	4,194.5	2,033.4	△ 2,161.1	

共同実施事業 2020年度補正予算概要キャッシュフローベース（案）

（単位：億円）

項目	当初予算 A	補正後予算 B	補正額 C=B-A	主な内容(パラリンピック経費を含む)
ハード(会場整備)	1,343.1	585.5	△ 757.6	
仮設等	1,135.6	480.2	△ 655.4	・ 競技会場等における仮設オーバーレイの一時撤去・再設置 等
エネルギー インフラ	207.5	105.3	△ 102.2	・ 競技会場等における仮設電源設備の一時撤去・再設置 等
ソフト(大会運営)	1,040.4	372.5	△ 667.9	
輸送	256.8	72.2	△ 184.6	・ 車両デポ・ハブ等の維持管理 等
セキュリティ	397.4	66.7	△ 330.7	・ 来場者、関係者に対するスクリーニング機器等の保管 ・ 統合映像監視システムの保守 等
テクノロジー	263.3	212.5	△ 50.8	・ 大会情報の配信、大会運営に関する各種システムの保守 ・ 通信インフラの維持管理 等
オペレーション	122.5	20.7	△ 101.8	・ 会場・競技運営準備、競技用備品の保管 ・ 選手村の維持管理 等
管理・広報等	0.4	0.4	△ 0.0	
緊急対応費	100.0	0.0	△ 100.0	
新型コロナウイルス 感染症対策関連	-	10.0	10.0	・ 選手村仮設医療施設の整備 等
計	2,483.5	968.0	△ 1,515.5	

※ 都が直接執行する事業を除く

2020年度 正味財産増減補正予算書(案)

2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I.一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
①事業収益	84,239,192	15,424,808	99,664,000
マーケティング収益	82,033,192	15,424,808	97,458,000
I O C 分担金	1,417,000	0	1,417,000
チケット収益	0	0	0
その他収益	789,000	0	789,000
②受取補助金等	0	421,000	421,000
スポーツ振興(補助)金(toto)	0	421,000	421,000
③受取負担金	75,972,991	0	75,972,991
共同実施事業負担金振替額	75,972,991	0	75,972,991
経常収益計	160,212,183	15,845,808	176,057,991
(2)経常費用			
①事業費	214,110,816		214,110,816
役員報酬	29,760		29,760
給料手当	4,138,179		4,138,179
超過勤務手当	757,164		757,164
法定福利費	2,076,913		2,076,913
福利厚生費	362,931		362,931
賞与引当金繰入額	162,524		162,524
会議費	5,778		5,778
旅費	56,390		56,390
交通費	901,233		901,233
滞在搬入費	37,593		37,593
通信運搬費	401,980		401,980
減価償却費	34,492,745		34,492,745
消耗品費	4,809,440		4,809,440
印刷製本費	207,451		207,451
光熱水費	628,593		628,593
賞借料	45,310,139		45,310,139
広告宣伝費	733,000		733,000
渉外託費	582,562		582,562
支払手数料	103,868,538		103,868,538
支払負担金	13,502,687		13,502,687
支調査研究費	884,665		884,665
雑費	146,674		146,674
②管理費	13,877		13,877
役員報酬		15,845,808	15,845,808
給料手当		15,840	15,840
超過勤務手当		591,168	591,168
法定福利費		108,166	108,166
福利厚生費		296,701	296,701
賞与引当金繰入額		51,847	51,847
理事會費		23,217	23,217
委員會費		224	224
旅費		2,000	2,000
交通費		120,293	120,293
滞在搬入費		57,418	57,418
減価償却費		4,927,535	4,927,535
消耗品費		682,573	682,573
光熱水費		80,926	80,926
賞借料		4,577,599	4,577,599
保険料		827,519	827,519
渉外託費		17,269	17,269
顧問料		890,646	890,646
租税公課		402,218	402,218
支払手数料		22,779	22,779
支払負担金		1,928,919	1,928,919
支調査研究費		40,527	40,527
雑費		178,129	178,129
経常費用計	214,110,816	15,845,808	229,956,624
当期経常増減額	△ 53,898,633	0	△ 53,898,633
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 53,898,633	0	△ 53,898,633
一般正味財産期首残高	75,329,793	△ 2,370,900	72,958,893
一般正味財産期末残高	21,431,160	△ 2,370,900	19,060,260
II.指定正味財産増減の部			
受取負担金	0	0	0
共同実施事業負担金	75,972,991	0	75,972,991
一般正味財産への振替額	△ 75,972,991	0	△ 75,972,991
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	163,380,694	300,000	163,680,694
指定正味財産期末残高	163,380,694	300,000	163,680,694
III.正味財産期末残高	184,811,854	△ 2,070,900	182,740,954

※借入れ限度額は10億円とする。

2020年度 正味財産増減補正予算書(案)

2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	当初予算			補正後予算			補正額		
	公益目的事業会計	法人会計	計	公益目的事業会計	法人会計	計	公益目的事業会計	法人会計	計
I.一般正味財産増減の部									
1.経常増減の部									
(1)経常収益									
①事業収益	220,049,783	39,170,217	259,220,000	84,239,192	15,424,808	99,664,000	△ 135,810,591	△ 23,745,409	△ 159,556,000
マーケティング収益	86,751,783	39,170,217	125,922,000	82,033,182	15,424,808	97,458,000	△ 4,718,591	△ 23,745,409	△ 28,464,000
IOC分担金	38,879,000	0	38,879,000	1,417,000	0	1,417,000	△ 37,262,000	0	△ 37,262,000
チケット収益	90,000,000	0	90,000,000	0	0	0	△ 90,000,000	0	△ 90,000,000
その他収益	4,819,000	0	4,819,000	789,000	0	789,000	△ 3,830,000	0	△ 3,830,000
②受取補助金等	0	841,000	841,000	0	421,000	421,000	0	△ 420,000	△ 420,000
スポーツ振興(補助金)(toto)	0	841,000	841,000	0	421,000	421,000	0	△ 420,000	△ 420,000
③受取負担金	248,350,009	0	248,350,009	75,972,991	0	75,972,991	△ 172,377,018	0	△ 172,377,018
共同実施事業負担金振替額	248,350,009	0	248,350,009	75,972,991	0	75,972,991	△ 172,377,018	0	△ 172,377,018
経常収益計	488,399,792	40,011,217	508,411,009	160,212,183	15,845,808	176,057,991	△ 308,187,809	△ 24,165,409	△ 332,353,018
(2)経常費用									
①事業費用	687,023,378		687,023,378	214,110,816	0	214,110,816	△ 472,912,562	0	△ 472,912,562
役員報酬	29,760		29,760	29,760	0	29,760	0	0	0
給料手当	3,223,901		3,223,901	4,138,179	0	4,138,179	914,278	0	914,278
超過勤務手当	505,120		505,120	757,164	0	757,164	252,044	0	252,044
法定福利費	1,791,042		1,791,042	2,076,913	0	2,076,913	285,871	0	285,871
福利厚生費	1,204,584		1,204,584	382,931	0	382,931	△ 841,653	0	△ 841,653
賞与引当金繰入額	114,187		114,187	162,524	0	162,524	48,337	0	48,337
会議費	51,827		51,827	5,778	0	5,778	△ 46,049	0	△ 46,049
旅費	142,785		142,785	56,390	0	56,390	△ 86,375	0	△ 86,375
滞在費	9,677,814		9,677,814	901,233	0	901,233	△ 8,776,381	0	△ 8,776,381
滞在雑費	95,176		95,176	37,593	0	37,593	△ 57,583	0	△ 57,583
通信運搬費	1,016,584		1,016,584	401,980	0	401,980	△ 614,604	0	△ 614,604
減価償却費	270,354,786		270,354,786	34,492,745	0	34,492,745	△ 235,862,021	0	△ 235,862,021
消耗品費	7,463,630		7,463,630	4,809,440	0	4,809,440	△ 2,654,190	0	△ 2,654,190
印刷製本費	814,945		814,945	207,451	0	207,451	△ 607,494	0	△ 607,494
光熱水費	3,653,410		3,653,410	628,593	0	628,593	△ 3,024,817	0	△ 3,024,817
賃借料	62,686,392		62,686,392	45,310,139	0	45,310,139	△ 17,376,253	0	△ 17,376,253
広告宣伝費	1,534,214		1,534,214	733,000	0	733,000	△ 801,214	0	△ 801,214
渉外委託手数料	628,100		628,100	582,562	0	582,562	△ 45,538	0	△ 45,538
支払手数料	290,341,007		290,341,007	103,868,538	0	103,868,538	△ 186,472,469	0	△ 186,472,469
支払手数料	25,141,433		25,141,433	13,502,687	0	13,502,687	△ 11,638,746	0	△ 11,638,746
支払手数料	5,696,678		5,696,678	884,665	0	884,665	△ 4,812,013	0	△ 4,812,013
支払手数料	819,459		819,459	146,674	0	146,674	△ 672,785	0	△ 672,785
支払手数料	36,784		36,784	13,877	0	13,877	△ 22,907	0	△ 22,907
②管理費		40,011,217	40,011,217	0	15,845,808	15,845,808	0	△ 24,165,409	△ 24,165,409
役員報酬		15,840	15,840	0	15,840	15,840	0	0	0
給料手当		480,557	480,557	0	591,168	591,168	0	130,611	130,611
超過勤務手当		72,160	72,160	0	108,166	108,166	0	36,006	36,006
法定福利費		255,863	255,863	0	296,701	296,701	0	40,838	40,838
福利厚生費		172,083	172,083	0	51,847	51,847	0	△ 120,236	△ 120,236
賞与引当金繰入額		16,312	16,312	0	23,217	23,217	0	6,905	6,905
理事報酬		25,150	25,150	0	224	224	0	△ 24,926	△ 24,926
委員報酬		17,164	17,164	0	2,000	2,000	0	△ 15,164	△ 15,164
旅費		1,099,803	1,099,803	0	120,293	120,293	0	△ 979,510	△ 979,510
滞在費		107,604	107,604	0	57,418	57,418	0	△ 50,186	△ 50,186
通信運搬費		18,980,859	18,980,859	0	4,927,535	4,927,535	0	△ 14,033,324	△ 14,033,324
減価償却費		1,027,207	1,027,207	0	682,573	682,573	0	△ 344,634	△ 344,634
消耗品費		483,183	483,183	0	80,926	80,926	0	△ 402,257	△ 402,257
光熱水費		6,277,057	6,277,057	0	4,577,599	4,577,599	0	△ 1,699,458	△ 1,699,458
賃借料		913,478	913,478	0	827,519	827,519	0	△ 85,959	△ 85,959
渉外委託手数料		17,270	17,270	0	17,289	17,289	0	△ 1	△ 1
支払手数料		5,515,446	5,515,446	0	890,646	890,646	0	△ 4,624,800	△ 4,624,800
支払手数料		403,924	403,924	0	402,218	402,218	0	△ 1,706	△ 1,706
支払手数料		39,448	39,448	0	22,779	22,779	0	△ 16,669	△ 16,669
支払手数料		3,584,378	3,584,378	0	1,928,919	1,928,919	0	△ 1,655,459	△ 1,655,459
支払手数料		104,728	104,728	0	40,527	40,527	0	△ 64,201	△ 64,201
支払手数料		439,408	439,408	0	178,129	178,129	0	△ 261,279	△ 261,279
支払手数料		2,295	2,295	0	2,295	2,295	0	0	0
経常費用計	687,023,378	40,011,217	727,034,595	214,110,816	15,845,808	229,956,624	△ 472,912,562	△ 24,165,409	△ 497,077,971
当期経常増減額	△ 218,623,586	0	△ 218,623,586	△ 53,898,633	0	△ 53,898,633	164,724,953	0	164,724,953
2.経常外増減の部									
(1)経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用									
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 218,623,586	0	△ 218,623,586	△ 53,898,633	0	△ 53,898,633	164,724,953	0	164,724,953
一般正味財産期首残高	75,329,793	△ 2,370,900	72,958,893	75,329,793	△ 2,370,900	72,958,893	0	0	0
一般正味財産期末残高	△ 143,293,793	△ 2,370,900	△ 145,664,693	21,431,160	△ 2,370,900	19,060,260	164,724,953	0	164,724,953
I.指定正味財産増減の部									
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
共同実施事業負担金	248,350,009	0	248,350,009	75,972,991	0	75,972,991	△ 172,377,018	0	△ 172,377,018
一般正味財産への振替額	△ 248,350,009	0	△ 248,350,009	△ 75,972,991	0	△ 75,972,991	172,377,018	0	172,377,018
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	163,380,694	300,000	163,680,694	163,380,694	300,000	163,680,694	0	0	0
指定正味財産期末残高	163,380,694	300,000	163,680,694	163,380,694	300,000	163,680,694	0	0	0
II.正味財産期末残高	20,086,901	△ 2,070,900	18,016,001	184,811,854	△ 2,070,900	182,740,954	164,724,953	0	164,724,953

※借入れ限度額は10億円とする。

資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類（案）
（2020年4月1日から2021年3月31日まで）

- 1 資金調達の見込みについて
なし
- 2 設備投資の見込みについて
選手村ほか44会場等にかかる建物附属設備等（94,699,367千円）を予定している。

[主な内訳]

(単位：千円)

	項目	金額
1	仮設・オーバーレイ（選手村101.3億円、オリンピックスタジアム48億円等）	85,643,582
2	輸送施設（トランスポートデポ、ハブの整備等）	2,995,200



大会延期に伴う開会式・閉会式の 制作等業務委託の契約変更について

2020年12月22日

1 審議事項

株式会社電通と締結している開会式・閉会式の
制作等業務委託契約の期間延長
及び契約金額上限額等の変更についてご審議いただきたい

2 これまでの経緯

- ◆ 2017年7月 プロポーザル方式で開会式及び閉会式の制作委託事業者を公募
- ◆ 2017年11月 選定結果について理事会決議
⇒ 株式会社電通を契約候補者に
- ◆ 2018年3月 理事会において株式会社電通との業務委託契約締結を決議
- ◆ 2019年2月 理事会において契約金額上限額の増額を決議
契約金額上限額：91億円 ⇒ 130億円
- ◆ 2020年3月 オリンピック・パラリンピック競技大会の1年延期が決定

TOKYO 2020

3 延期後の式典の方向性

- ◆ 延期後の全体方針に基づき、式典についても簡素化・コスト削減を実施
- ◆ 「平和」「共生」「復興」「未来」等を含む基本コンセプト、4つの式典を一連の四部作と捉える、メリハリを付けて構成する等の基本プランは維持
- ◆ コロナ禍を踏まえたメッセージを演出内容に反映

TOKYO 2020

4 契約変更について

大会延期及びそれに伴う演出内容の変更を反映し、
以下のとおり、契約変更を行いたい

【主な変更内容】

① 契約期間の延長

2017年12月1日から
2020年12月31日まで ⇒ 2021年12月31日まで

② 契約金額上限額の変更

130億円（税込） ⇒ 165億円（税込）



大会延期に伴う仮設電源サービスの 契約変更について

2020年12月22日

審議事項

既に契約している仮設電源サービスについて、大会延期に伴い契約期間、契約金額の変更をご決議いただきたい。

(契約全体概要)

- 件名： 仮設電源サービス契約
- 受注者： アグレコイベントサービスジャパン株式会社
(東京2020オフィシャルサポーター Tier3)
- 内容： 全会場における仮設電源の詳細設計から設置、運用と維持管理、撤去
- 契約期間： (変更前) 2018年12月13日～2020年12月25日
(変更後) 2018年12月13日～2021年12月25日
- 契約金額： 増額変更

変更理由

- 仮設電源サービスの費用内訳は、「設備レンタル費」「倉庫費・維持管理費」「会場への設置・撤去費」「会場への輸送費」である
- 大会の延期決定時に、大会に使用する設備が既に日本に到着し、倉庫に保管されていたため、上記費用のうち「設備レンタル費」「倉庫費・維持管理費」について大会延期による追加費用が発生する。
- 追加費用の対象となる設備の絞込みや、レンタルの対象期間を縮小する交渉を行い、費用の精査を実施した結果、提示された追加費用金額から減額している。

【参考 日本に保管されている仮設電源設備】

①発電機 ②変圧器 ③電力ケーブル ④配電盤 ⑤受電盤





TOKYO 2020

東京2020 第39回理事会 資料

報告事項



東京2020聖火リレーについて

2020年12月22日

1. 東京2020オリンピック聖火リレーについて

■実施日程

- ・新たなオリンピック聖火リレーは、2021年3月25日（木）に福島県のナショナルトレーニングセンターJヴィレッジでグランドスタートを実施し、121日間、日本全国で実施
- ・各都道府県の実施日は、従前のスケジュールの1日前倒し（各都道府県 実施日一覧（別紙）参照）

■聖火ランナー

- ・延期前の聖火リレーにおいて、既に決定した聖火ランナーに優先して走行していただく予定
- ・候補者のご辞退などによって、変更が生じる場合は調整し、今後、正式に決定予定

■実施市区町村

- ・延期前と同じ全国の859市区町村で実施

■セレブレーションの実施

- ・最終日を除く113日間、毎日実施
- ・運営上の都合により場所を変更した会場を除いて、延期前と同じ会場で実施

■準備・実施内容の簡素化について

- ・東京2020大会の簡素化方針に沿って、「聖火リレー隊列のスリム化」「グランドスタート及びセレブレーションの簡素化」「その他の業務運営内容の効率化」などの簡素化・効率化を実施

※安全・安心なリレーの実施に向けて、今後、新型コロナウイルス感染症の対策案を取りまとめて公表予定

東京2020オリンピック聖火リレー 各都道府県 実施日一覧 (2021年)

都道府県名	日 程	都道府県名	日 程	都道府県名	日 程
① 福島県	3/25(木)～3/27(土)	①⑦ 鹿児島県	4/27(火)～4/28(水)	③③ 富山県	6/2(水)～6/3(木)
② 栃木県	3/28(日)～3/29(月)	①⑧ 沖縄県	5/1(土)～5/2(日)	③④ 新潟県	6/4(金)～6/5(土)
③ 群馬県	3/30(火)～3/31(水)	①⑨ 熊本県	5/5(水)～5/6(木)	③⑤ 山形県	6/6(日)～6/7(月)
④ 長野県	4/1(木)～4/2(金)	②⑩ 長崎県	5/7(金)～5/8(土)	③⑥ 秋田県	6/8(火)～6/9(水)
⑤ 岐阜県	4/3(土)～4/4(日)	②⑪ 佐賀県	5/9(日)～5/10(月)	③⑦ 青森県	6/10(木)～6/11(金)
⑥ 愛知県	4/5(月)～4/6(火)	②⑫ 福岡県	5/11(火)～5/12(水)	③⑧ 北海道	6/13(日)～6/14(月)
⑦ 三重県	4/7(水)～4/8(木)	②⑬ 山口県	5/13(木)～5/14(金)	③⑨ 岩手県	6/16(水)～6/18(金)
⑧ 和歌山県	4/9(金)～4/10(土)	②⑭ 島根県	5/15(土)～5/16(日)	④⑩ 宮城県	6/19(土)～6/21(月)
⑨ 奈良県	4/11(日)～4/12(月)	②⑮ 広島県	5/17(月)～5/18(火)	④⑪ 静岡県	6/23(水)～6/25(金)
⑩ 大阪府	4/13(火)～4/14(水)	②⑯ 岡山県	5/19(水)～5/20(木)	④⑫ 山梨県	6/26(土)～6/27(日)
⑪ 徳島県	4/15(木)～4/16(金)	②⑰ 鳥取県	5/21(金)～5/22(土)	④⑬ 神奈川県	6/28(月)～6/30(水)
⑫ 香川県	4/17(土)～4/18(日)	②⑱ 兵庫県	5/23(日)～5/24(月)	④⑭ 千葉県	7/1(木)～7/3(土)
⑬ 高知県	4/19(月)～4/20(火)	②⑲ 京都府	5/25(火)～5/26(水)	④⑮ 茨城県	7/4(日)～7/5(月)
⑭ 愛媛県	4/21(水)～4/22(木)	③⑰ 滋賀県	5/27(木)～5/28(金)	④⑯ 埼玉県	7/6(火)～7/8(木)
⑮ 大分県	4/23(金)～4/24(土)	③⑱ 福井県	5/29(土)～5/30(日)	④⑰ 東京都	7/9(金)～7/23(金)
⑯ 宮崎県	4/25(日)～4/26(月)	③⑲ 石川県	5/31(月)～6/1(火)		

2. 東京2020パラリンピック聖火リレーについて

■実施日程

- ・パラリンピック聖火フェスティバル及び聖火リレーの実施日程は、従前のスケジュールを1日前倒し
- ・2021年8月12日（木）から8月24日（火）に実施（2021年実施スケジュール（別紙）参照）

■聖火ランナー

- ・2020年2月時点で応募いただいた方が聖火ランナーの対象となること、聖火ランナーの総人数（約1,000名）、
「3人1組」で走る方式については、延期前から変更なし
- ・ランナー決定に関するスケジュールは、あらためて発表予定

■実施市区町村

- ・静岡県・千葉県・埼玉県・東京都において聖火リレーを実施する市区町村は、原則として、変更しない予定

■準備・実施内容の簡素化について

- ・東京2020大会の簡素化方針に沿って、「聖火リレー隊列のスリム化」「出立式やセレブレーションの簡素化」
「その他の業務運営内容の効率化」などの簡素化・効率化を実施

※安全・安心なリレーの実施に向けて、今後、新型コロナウイルス感染症の対策案を取りまとめて公表予定

東京2020パラリンピック聖火リレー 2021年実施スケジュール

8月

月	火	水	木	金	土	日
2	3	4	5	6	7	8
						オリンピック 閉会式
9	10	11	12	13	14	15
			▲ 聖火 フェスティバル	▲ 聖火 フェスティバル	▲ 聖火 フェスティバル	▲ 聖火 フェスティバル
			43道府県 採火 聖火ビジット 出立	43道府県 採火 聖火ビジット 出立	43道府県 採火 聖火ビジット 出立	43道府県 採火 聖火ビジット 出立
16	17	18	19	20	21	22
▲ 聖火 フェスティバル	● 聖火 フェスティバル	● 聖火 フェスティバル	● 聖火 フェスティバル	● 聖火 フェスティバル	★ 開催都市内 聖火リレー	★ 開催都市内 聖火リレー
43道府県 採火 聖火ビジット 出立	競技開催都県 (静岡県) 採火 聖火ビジット 聖火リレー 出立	競技開催都県 (千葉県) 採火 聖火ビジット 聖火リレー 出立	競技開催都県 (埼玉県) 採火 聖火ビジット 聖火リレー 出立	競技開催都県 (東京都) 採火 聖火ビジット 聖火リレー 出立	開催都市 (東京都) 聖火リレー セレブレーション	開催都市 (東京都) 聖火リレー セレブレーション
				■ 集火式		
				開催都市 (東京都)		
23	24	25	26	27	28	29
★ 開催都市内 聖火リレー	★ 開催都市内 聖火リレー					
開催都市 (東京都) 聖火リレー セレブレーション	開催都市 (東京都) 聖火リレー					
	パラリンピック 開会式					

実施スケジュール

- 8/12(木)~16(月) **43道府県**
採火 ⇒ 聖火ビジット(任意) ⇒ 出立
- 8/17(火)~20(金) **競技開催4都県**
(静岡県、千葉県、埼玉県、東京都)
採火 ⇒ 聖火ビジット(任意)
⇒ **聖火リレー** ⇒ 出立 ※3県から
- 8/20(金) 夜 **集火式**
- 8/21(土)~24(火) **東京都**
開催都市内聖火リレー

パラ聖火リレーは計8日間

▲ 聖火フェスティバル(43道府県)	8/12~16	(5日間)
● 聖火フェスティバル(競技開催都県)	8/17~20	(各1日間)
■ 集火式(東京都)	8/20	(夜)
★ 開催都市内聖火リレー(東京都)	8/21~24	(4日間)
◆ ストーク・マンデビル 採火式	未定	



TOKYO 2020

東京2020 第39回理事会 資料

配付資料



第10回IOC調整委員会会議、 IOC理事会、 IOC・IPC合同プロジェクトレビュー

2020年12月22日

(1) 第10回IOC調整委員会会議

- 日時：2020年9月24日（木）、25日（金）
- 場所：晴海トリトンスクエア ※テレビ会議により開催
- 出席者：
 - IOC側：コーツIOC調整委員会委員長、
ギラディ同副委員長、同委員、スタッフ ほか
 - 東京側：森会長、遠藤会長代行、各副会長、
武藤事務総長、
各副事務総長、
東京都、政府、JOC、JPC ほか

(1) 第10回IOC調整委員会会議 (続き)

4 内容：東京大会の進捗についてのプレゼン及び質疑応答 等

<9月24日 (木) >

○オープニング

○全体セッション①

延期決定後の取組、コロナ感染症

<9月25日 (金) >

○全体セッション②

簡素化とコスト削減

○全体プレゼン

1年前プログラム/水質 (お台場) /暑さ対策/OPR (テストイベント含む)

○クロージング

TOKYO 2020

コーツ委員長からのコメント (要旨)

- ・ポストコロナの時代にふさわしい簡素化された大会、そして費用が比較的掛からない大会とするための50の項目を決定
- ・聖域無しという前提で、さらなる費用節約、効率化の改善を今後大会開催時まで継続して検討
- ・新型コロナ対策に関しては、国、東京都、組織委員会の間で調整会議が立ち上げられ嬉しく思う。
- ・柔軟性をもち、あるいは創意工夫を重ねて全員で対策を実施していくことが必要
- ・我々が実施する大会は、ポストコロナ時代にふさわしい新しい大会になると確信
- ・アスリートのために大会を成功させなければならない。引き続き、パートナーシップを深めてやっていきたい。

TOKYO 2020

(2) IOC理事会 (東京2020進捗報告)

- 1 日時 : 2020年10月7日 (水)
- 2 場所 : ローザンヌ (スイス) ※テレビ会議形式により参加
- 3 出席者 :
IOC側 : バッハ会長、コーツIOC調整委員会委員長、IOC理事
東京側 : 森会長、遠藤会長代行、武藤総長、山下副会長/IOC委員、
中村GDO、小谷SD
- 4 内容 東京大会の進捗についてのプレゼン及び質疑応答 等
簡素化詳細／新型コロナウイルス感染症への対応／
ステークホルダーへの情報共有／HCC

TOKYO 2020

(3) IOC・IPC合同プロジェクトレビュー

- 1 日時 : 2020年11月16日 (月) ~18日 (水)
- 2 場所 : 晴海トリトンスクエア ※テレビ会議により開催
- 3 出席者 :
IOC側 : バッハIOC会長
コーツIOC調整委員会委員長、
ギラディ同副委員長、
同委員、スタッフ ほか
IPC側 : パーソンスIPC会長
スペイン
IPCチーフブランド&コミュニケーション
オフィサー ほか
東京側 : 森会長、遠藤会長代行、各副会長、
武藤事務総長、
各副事務総長、
東京都、政府、JOC、JPC ほか



TOKYO 2020

(3) IOC・IPC合同プロジェクトレビュー (続き)

4 内容：東京大会の進捗についてのプレゼン及び質疑応答 等

○11月16日 (月)

・オープニング

・コロナ感染症対策：

プレイブック/検査/日本への入国/テクノロジー

○11月17日 (火)

・コロナ感染症対策：

スポーツ/会場での社会的距離の確保/輸送/選手村、事態対処/宿泊/聖火リレー/
清掃、廃棄物、ケータリング/メディア

・IPCワーキングセッション 1 (放送サービス)

・IPCワーキングセッション 2 (宿泊)

○11月18日 (水)

・IPCプレナリー (大会延期後の準備状況)

・クロージング：

プレゼン (ロードマップ、OPR、テストイベント、テクノロジー、エネルギー、暑さ対策)
ラップアップ

TOKYO 2020

コーチ委員長及びパーソンズ会長からのコメント (要旨)

(コーチ委員長)

- ・バウハIOC会長の菅総理や小池都知事との面会、安倍前総理への授与式に随行
- ・日本国民の大会をやろうというコミットが非常に高く、信念をもって準備を進めているとの印象
- ・新型コロナ感染症対策の検討については、流動的な状況ではあるが、来年7月23日に開会式が行われる際には準備万端であることを再確認できた。

(パーソンズ会長)

- ・東京2020、東京都、日本国政府、IOCに対して感謝を申し上げたい。
- ・すべてのパートナーが協力して、安心・安全かつ成功裏の大会を来年開催しようと努力している。
- ・このコロナ禍において、特に障がい者の方たちがより多くの影響を受けている。
- ・来年の大会が、我々全員にとって、素晴らしいより良い包摂的な社会になる出発点となることを期待している。



TOKYO 2020

(4) IOC理事会 (東京2020進捗報告)

- 1 日時 : 2020年12月7日 (月)
- 2 場所 : ローザンヌ (スイス) ※テレビ会議形式により参加
- 3 出席者 :
IOC側 : バッハ会長、コーツIOC調整委員会委員長、IOC理事
東京側 : 森会長、遠藤会長代行、武藤総長、中村GDO、小谷SD、
伊藤CFO
- 4 内容 東京大会の進捗についてのプレゼン及び質疑応答 等
コロナ対策 / 追加経費



顧問会議

名誉最高顧問の就任、 最高顧問・特別顧問・顧問の変更について

2020年12月22日

名誉最高顧問

氏名	所属先役職等
安倍 晋三	元内閣総理大臣

最高顧問/議長

新	所属先役職等	旧
菅 義偉	内閣総理大臣	安倍 晋三

特別顧問

新	所属先役職等	旧
加藤 勝信	内閣官房長官	菅 義偉

顧問

新	所属先役職等	旧
梅本 和義	独立行政法人国際交流基金理事長	安藤 裕康
重永 睦夫	日本私立小学校連合会会長	小泉 清裕
清水 敬介	公益社団法人日本PTA全国協議会会長	島村 宜伸
杉山 寛行	全国公立短期大学協会会長	鈴木 道子
堀内 丸恵	一般社団法人日本雑誌協会理事長	鹿谷 史明
三田村 裕	全日本中学校校長会会長/ 公益財団法人日本中学校体育連盟会長	川越 豊彦
箕輪 恵美	全国公立幼稚園長・こども園長会会長	新山 裕之